

2014年度第1四半期 決算ハイライト

2014年7月31日

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。

かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。

そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。

<本資料における計数の定義>

連結 : 三菱UFJフィナンシャル・グループ(連結)
2行合算 : 三菱東京UFJ銀行(単体)と三菱UFJ信託銀行(単体)の単純合算

目次

● 損益サマリー	3
● 当期純利益の概要	4
● B/Sサマリー	5
● 貸出金・預金	6
● 国内預貸金利回り	7
● 貸出資産の状況	8
● 保有有価証券の状況	9

● 業務純益

- 特定取引利益やその他業務利益が減少したものの、海外貸出収益や投資銀行収益の増加に加え、アユタヤ銀行の連結化もあり、業務粗利益は増加
- 営業費は海外経費の増加やアユタヤ銀行の連結化を主因に増加
- 以上の結果、連結業務純益は431億円減少の3,392億円

● 与信関係費用総額

- 一般貸倒引当金の戻入が減少したものの、個別貸倒引当金の減少を主因に改善

● 株式等関係損益

- 株式等償却の減少を主因に改善

● 四半期純利益

- 以上の結果、四半期純利益は147億円減益の2,404億円

〈連結P/L〉

(単位:億円)

	13年1Q	14年1Q	増減
1 連結業務粗利益(信託勘定償却前)	9,489	9,674	185
2 資金利益	4,413	4,907	493
3 信託報酬+役員取引等利益	2,957	3,094	136
4 特定取引利益+その他業務利益	2,118	1,673	▲ 445
5 うち国債等債券関係損益	675	854	179
6 営業費(▲)	5,665	6,282	616
7 連結業務純益	3,823	3,392	▲ 431
8 与信関係費用総額*1	▲ 154	▲ 74	79
9 株式等関係損益	128	179	51
10 株式等償却	▲ 73	▲ 4	68
11 持分法による投資損益	396	448	52
12 その他の臨時損益	12	3	▲ 9
13 経常利益	4,206	3,949	▲ 257
14 特別損益	▲ 268	▲ 339	▲ 71
15 法人税等合計	▲ 954	▲ 977	▲ 22
16 四半期純利益	2,552	2,404	▲ 147
17 1株当たり利益(円)	18.03	16.98	▲ 1.05

*1 与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益)+貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)+償却債権取立益

〈ご参考〉

	13年1Q	14年1Q	増減	14年度目標
経費率(連結)	59.7%	64.9%	5.2%	50%台後半
経費率(2行合算)	56.0%	57.8%	1.7%	50%台前半
連結ROE*2	9.85%	8.56%	▲ 1.28%	8%程度

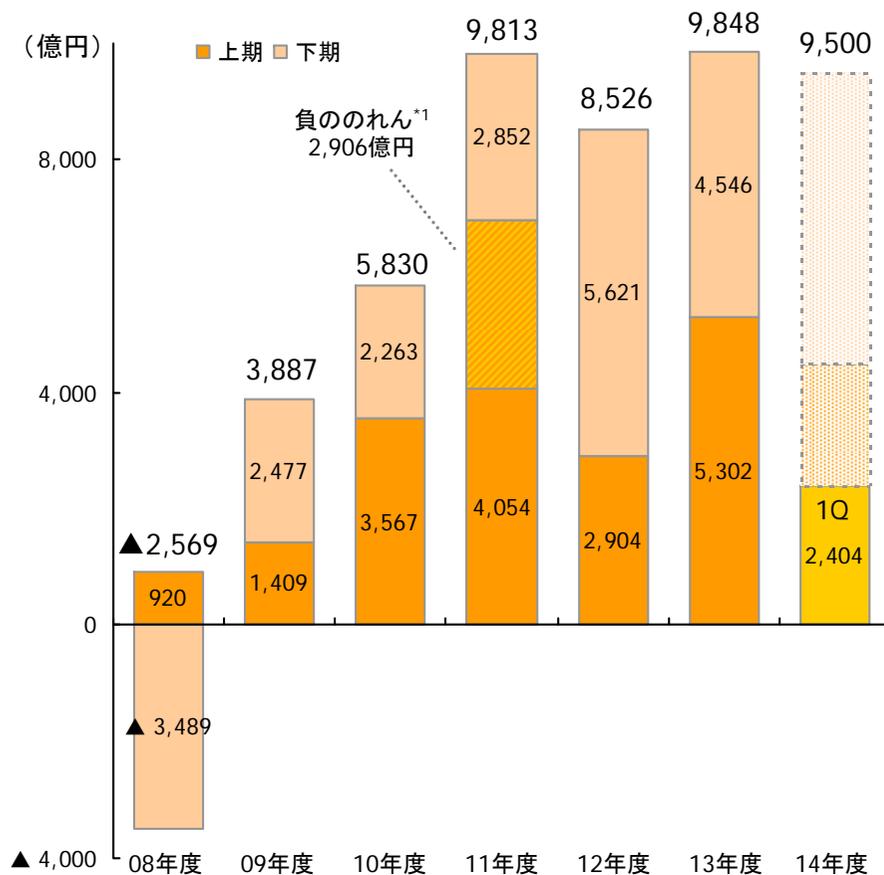
*2 $\frac{\text{四半期純利益} \times 4 - \text{非転換型優先株式年間配当相当額}}{\text{[(期首株主資本合計 - 期首発行済非転換型優先株式数} \times \text{払込金額} + \text{期首為替換算調整勘定}] + \text{[(期末株主資本合計} - \text{期末発行済非転換型優先株式数} \times \text{払込金額} + \text{期末為替換算調整勘定}] \div 2} \times 100$

当期純利益の概要

【連結】

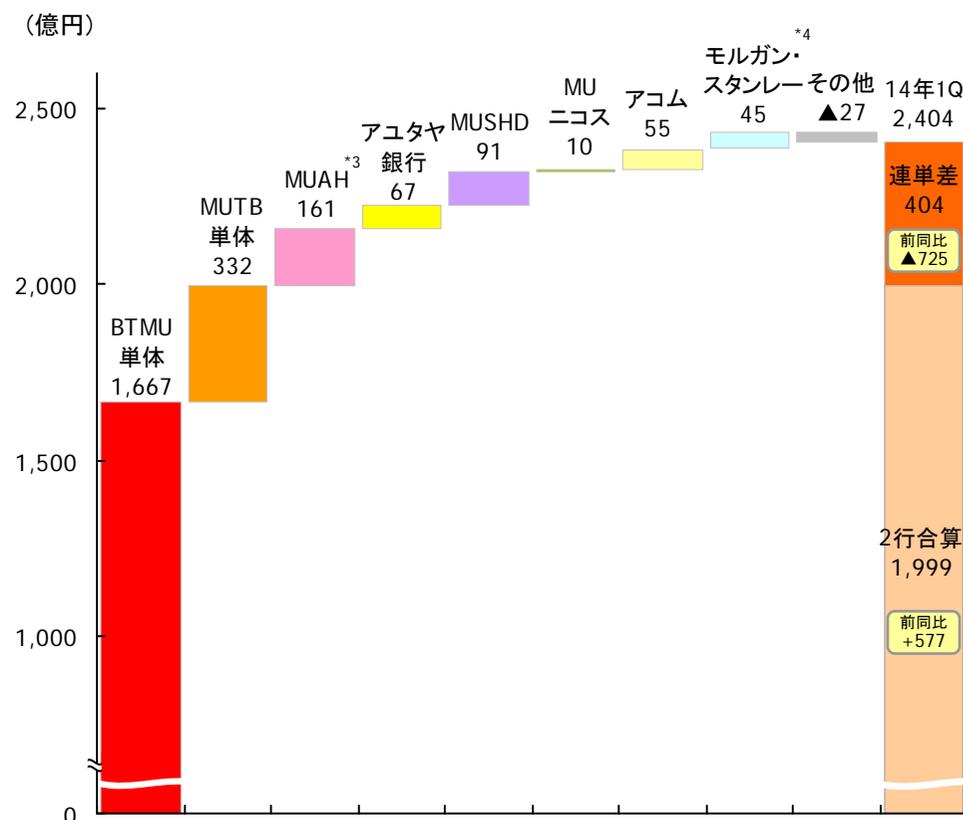
- 連結当期純利益の通期業績目標に対する進捗率は25.3%
- 14年度1Qからアユタヤ銀行のPLを連結。主要業態が何れも貢献し、連単差は404億円

当期純利益の推移



*1 モルガン・スタンレーの持分法適用関連会社化に伴う負ののれん

当期純利益内訳*2



*2 上記子会社・持分法適用関連会社の計数は持分比率勘案後 (税引後ベース) の実績

*3 MUFG Americas Holdings Corporation

*4 持分変動損失▲332億円を含む



●貸出金

- 国内法人貸出の増加を主因に、14年3月末比増加

●有価証券

- 国債および外国債券の減少を主因に、14年3月末比減少

●預金

- 個人預金は増加したものの、法人預金および海外預金の減少により、14年3月末比減少

●開示債権

- 危険債権の減少を主因に、開示債権残高は14年3月末比減少

●その他有価証券評価益

- 国内株式および外国債券の評価損益改善を主因に14年3月末比増加

(単位:億円)

〈連結B/S〉

	14年6月末	14年3月末比
1 資産の部合計	2,593,951	12,632
2 貸出金(銀行勘定+信託勘定)	1,021,768	1,382
3 貸出金(銀行勘定)	[1,020,759]	[1,370]
4 うち住宅ローン ^{*1}	162,019	▲1,457
5 うち国内法人貸出 ^{*1*2}	416,434	3,305
6 うち海外貸出 ^{*3}	338,574	▲495
7 有価証券(銀行勘定)	720,377	▲24,778
8 うち国内株式	52,231	2,248
9 うち国債	383,317	▲23,181
10 うち外国債券	206,038	▲8,279
11 負債の部合計	2,446,210	16,020
12 預金	1,442,984	▲4,618
13 うち個人預金(国内店)	696,085	7,412
14 純資産の部合計	147,741	▲3,387
15 金融再生法開示債権 ^{*1}	13,620	▲560
16 開示債権比率 ^{*1}	1.35%	▲0.05%
17 その他有価証券評価損益	23,426	4,727

*1 2行合算+信託勘定

*2 政府等向け貸出除き

*3 海外支店+MUAH+アユタヤ銀行+BTMU(中国)+BTMU(オランダ)

●連結貸出金残高102.1兆円

(14年3月末比+0.1兆円)

<14年3月末比増減の主要因>

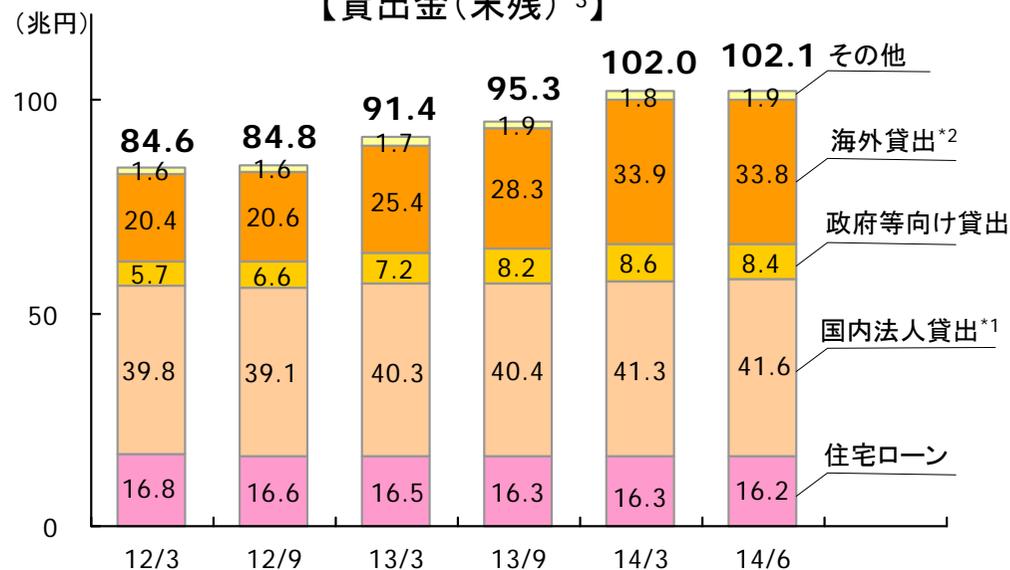
- 住宅ローン ▲0.1兆円
- 国内法人貸出^{*1} +0.3兆円
- 海外貸出^{*2} ▲0.0兆円
- (除く為替影響) (+0.4兆円)

*1 政府等向け貸出除き

*2 海外支店+MUAH+アユタヤ銀行+BTMU(中国)+BTMU(オランダ)

*3 銀行勘定+信託勘定

【貸出金(末残)^{*3}】



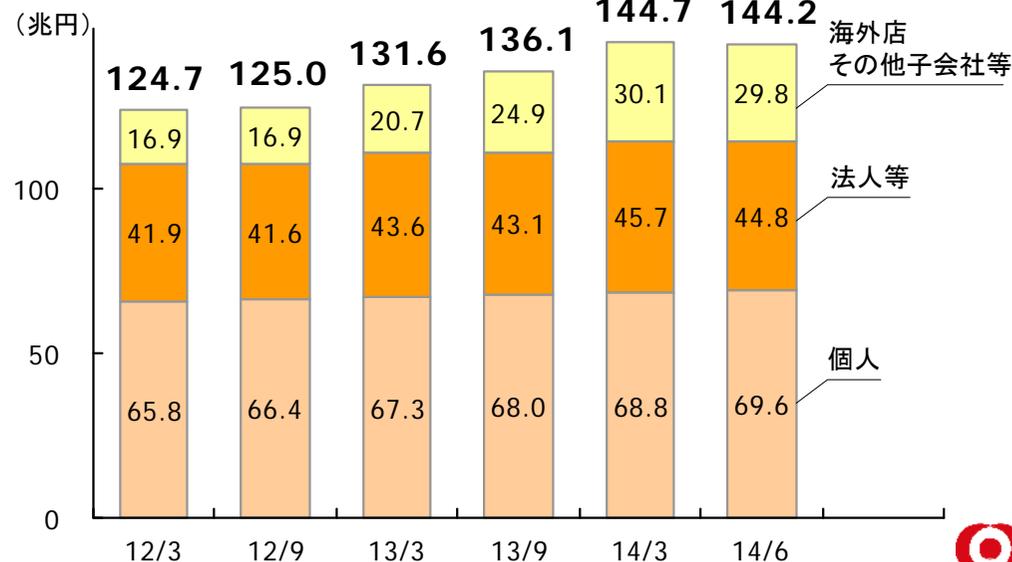
●連結預金残高144.2兆円

(14年3月末比▲0.4兆円)

<14年3月末比増減の主要因>

- 個人預金 +0.7兆円
- 法人等預金 ▲0.9兆円
- 海外店その他 ▲0.2兆円
- (除く為替影響) (+0.1兆円)

【預金(末残)】

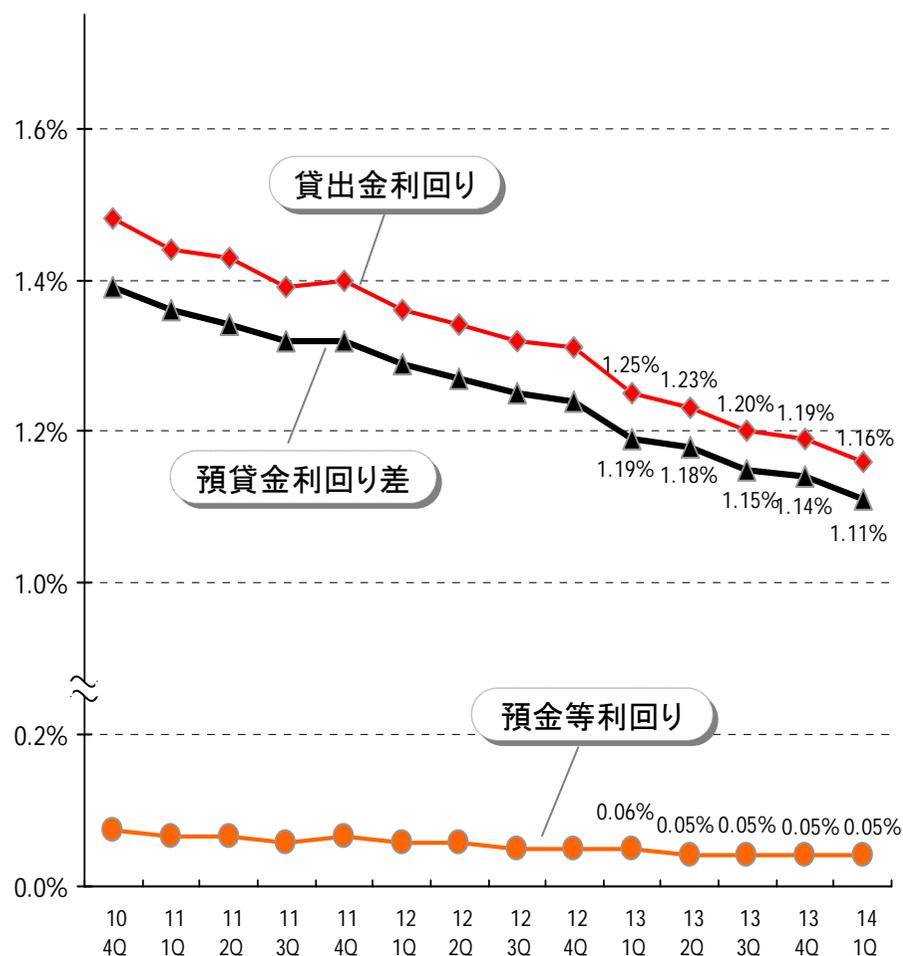


国内預貸金利回り

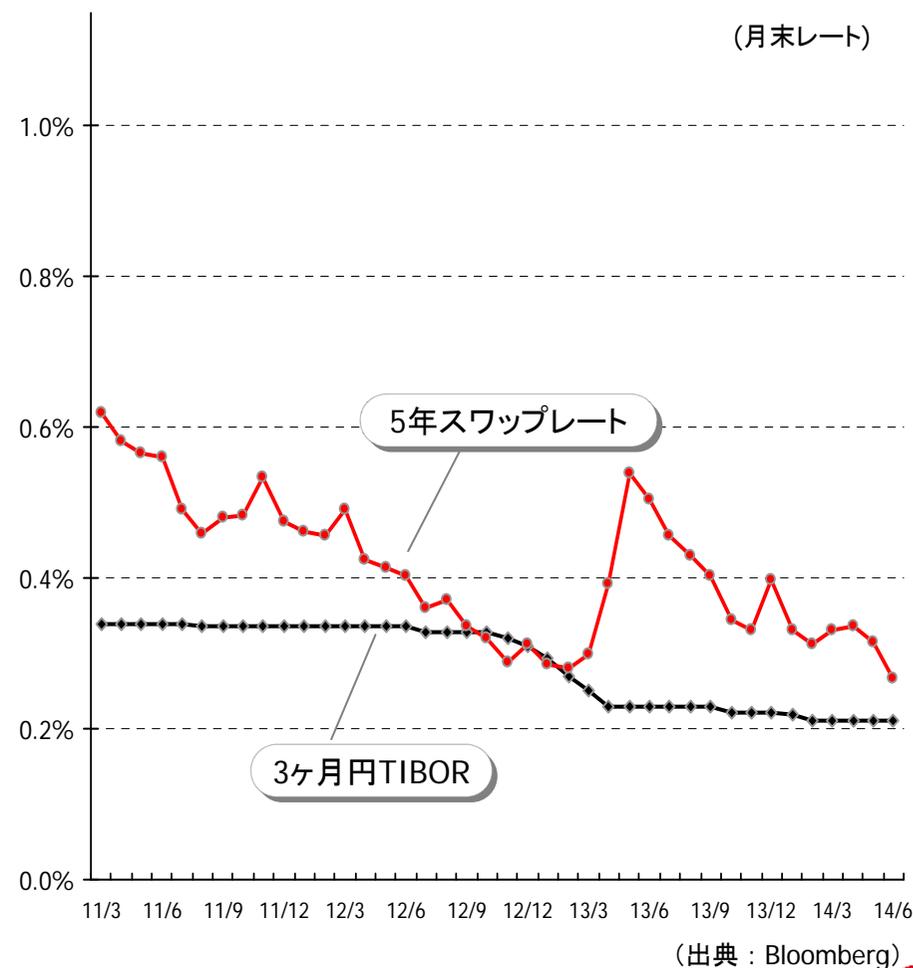
【2行合算】

- 14年度1Qの預貸金利回り差(政府等向け貸出除き)は、貸出金利回りの低下を主因として13年度4Q比0.03%縮小

国内預貸金利回りの推移(政府等向け貸出除き)



(ご参考)市場金利の推移

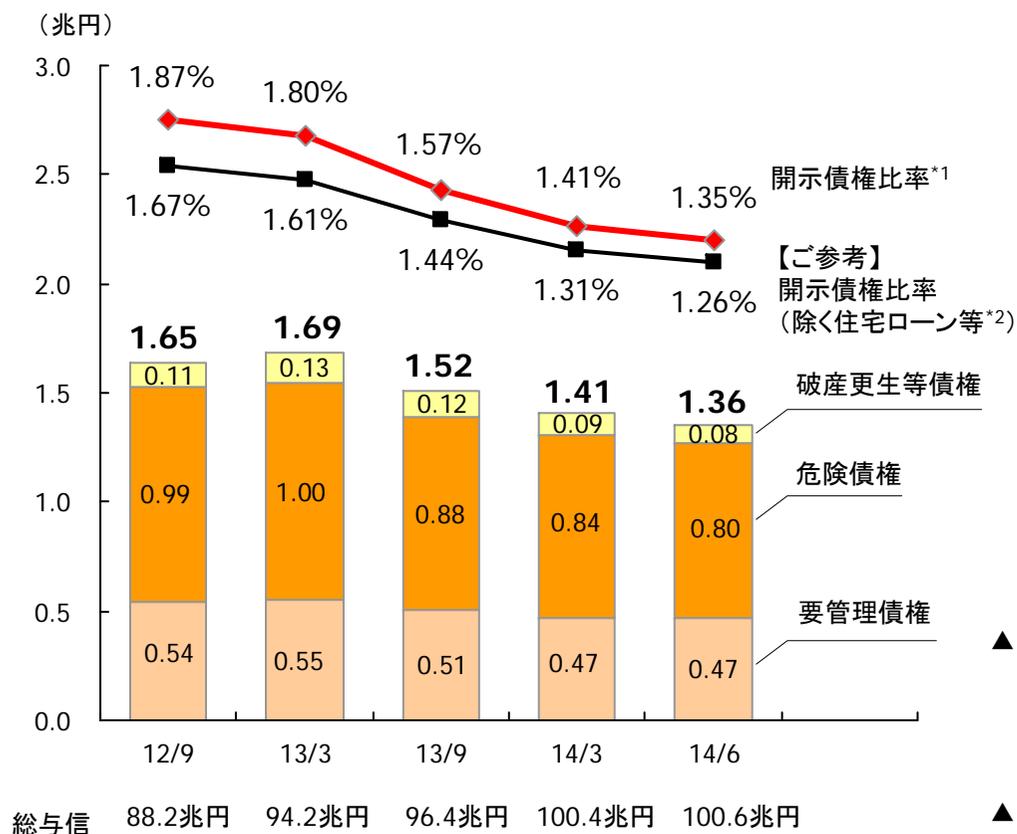


貸出資産の状況

【連結・2行合算】

- 危険債権の減少により、開示債権比率は14/3末比0.05%低下し1.35%
- 与信関係費用総額は前年同期比改善し、連結では74億円(2行合算は205億円の戻入)

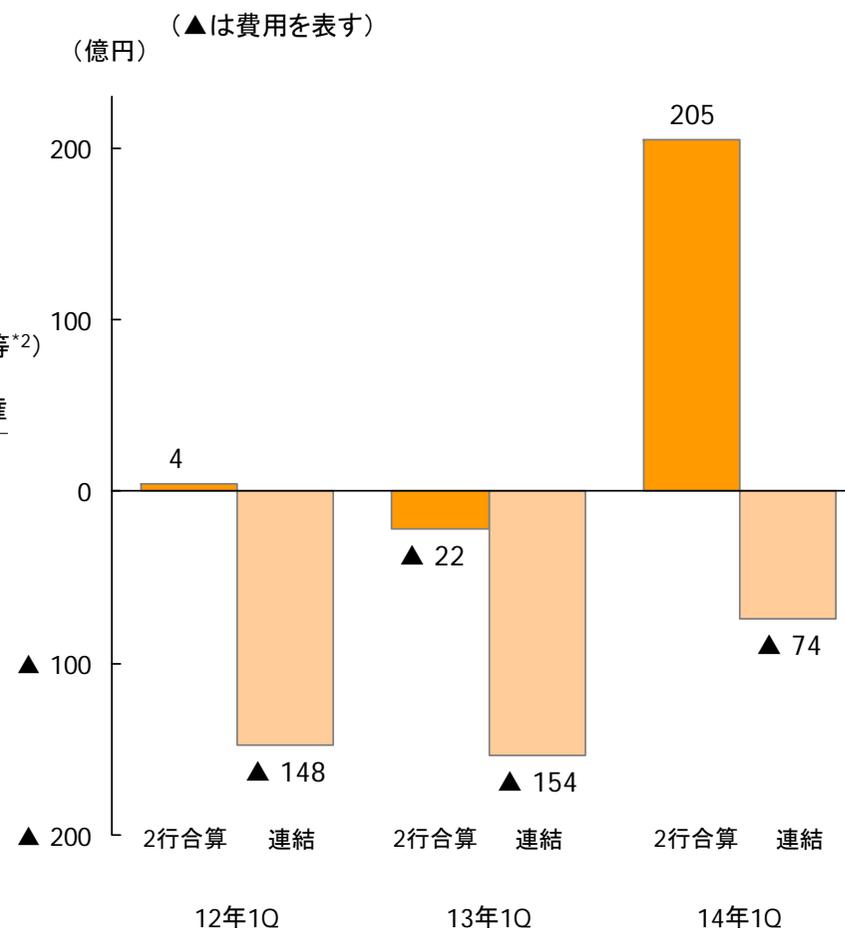
金融再生法開示債権残高(2行合算)



*1 開示債権額÷総与信

*2 グループ保証会社が保証する住宅ローンの貸出条件緩和債権等を除く

与信関係費用総額



保有有価証券の状況

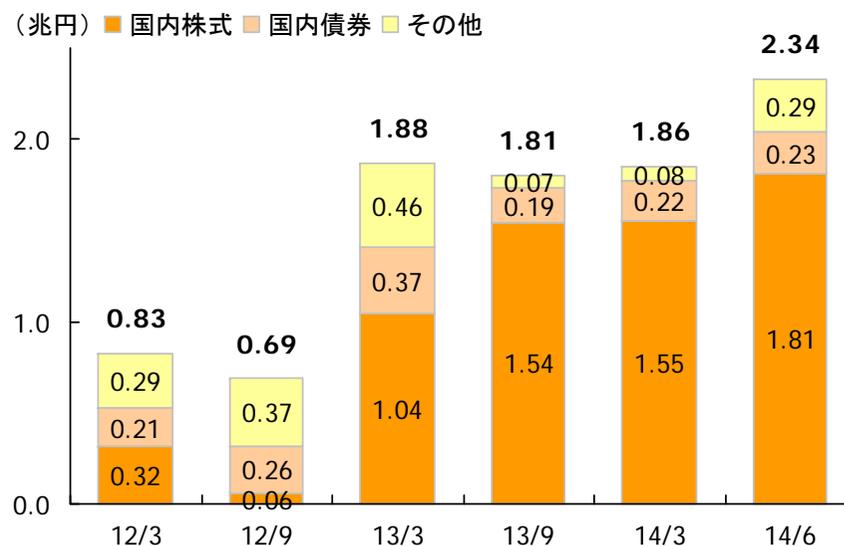
【連結・2行合算】

その他有価証券(時価あり)の内訳

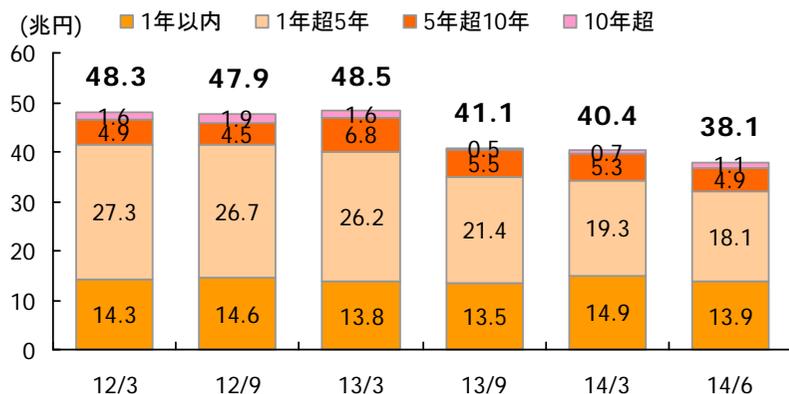
(単位:億円)

	14年6月末残高		評価損益	
		14/3末比		14/3末比
1 合計	688,710	▲ 28,509	23,426	4,727
2 国内株式	46,350	2,508	18,167	2,570
3 国内債券	403,817	▲ 27,419	2,341	112
4 国債	378,172	▲ 26,177	1,763	86
5 その他	238,543	▲ 3,598	2,918	2,044
6 外国株式	2,086	▲ 88	788	▲ 27
7 外国債券	196,662	▲ 9,336	955	1,485
8 その他	39,794	5,826	1,174	587

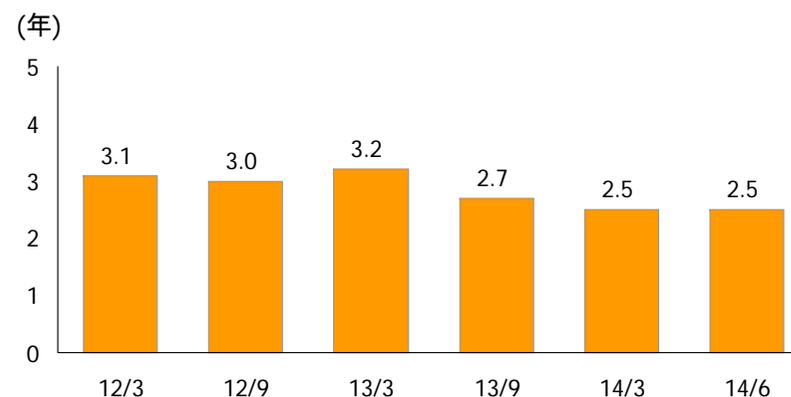
その他有価証券評価損益の推移



国債の残存期間別残高(2行合算)*1



国債デュレーション(2行合算)*2



*1 その他有価証券および満期保有目的の国債

*2 その他有価証券